

2023宮城県議選 立候補予定者

こども・子育て政策に関するアンケート

回答者名【金田 もとる】 立候補予定選挙区【青葉】 所属政党【日本共産党】

問1. 子どもをもう一人、と望む家庭でも経済的理由から二の足を踏む親御さんもいると聞きます。東京都の018サポートや、大阪府の子育て世帯向け食料支援など、経済支援を行っている都道府県もありますが、子どもを生き育てやすい県にするために、宮城県には何が必要と考えますか？

結婚したいと思ったときに結婚でき、生活して行けるだけの賃金・労働条件の保障・整備。子どもが欲しいと思ったときに子どもを持つことができる賃金・労働条件の保障・整備。子育て支援政策(学校給食費無償化、子ども医療費窓口負担なし等)の拡充、独自支援策を講じている市町村への財政支援など。

問2. 埼玉県議会で提出されていた虐待禁止条例の一部改正案については賛否両論の声があがっていました。宮城県においてもこのような法案が必要と考えますか？

不要

問3. 子育て世帯の関心が高いいじめ問題ですが、宮城県としてどう対策していくべきと考えますか？

一人一人の子どもに目が行き届く環境整備(少人数学級の実現、教職員・スクールカウンセラー等の増員他)

問4. ひとり親家庭には、医療費のサポートがあるものの、一度立て替えた上で後日振り込まれる方法となっており、経済的に厳しいという声があります。これについてどうなっていくべきと考えますか？

早急に現物給付制に切り替えるべき(党県議団として要望し続けています)。

問5. 今年8月に発表された宮城県医療的ケア児等相談支援センター(愛称:ちるふぁ)の調査によると、医療的ケア児は県内に333人います。支援は進んでいますが、一方当事者からはまだ相談してもらいたい回しになるという現状は変わってないという声もあります。医療的ケア児の相談体制としてはどうなっていくべきだと思いますか？

この間「ちるふぁ」にも伺い、現状と課題について直接お話をお聞きしていただきましたが、相談支援体制の強化は「ちるふぁ」のみならず、各市町村で「ちるふぁ」連携してと対応する部署の体制の強化も必要と感じていました。

こども達のために、日本を変える

Florence